

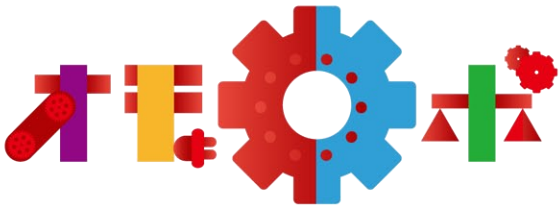


HIROSAKI DESIGN WEEK



小学生・中学生のDESIGN WEEK オモロボ・ワークショップ

とにかくオモシロいロボットをつくる。弘前から東京へ、そして世界へ。



古くは鉄腕アトム、鉄人28号、ドラえもん、ガンダム、エヴァンゲリオン、、、ロボットは、常に日本の子どもの側にある未来を感じさせる象徴です。日本がこれまで快進撃を魅せてきた領域で子どもの自由な発想・アイデアをカタチに。JAPAN DESIGN WEEKの参加都市で地方大会、そして TOKYO DESIGN WEEK にて全国大会を実施。さらに、WORLD DESIGN WEEK と連携し、世界大会を開催します。テーマは、「オモ・ロボ」とにかく面白いロボット。

講師：明和電機
土佐信道 (アーティスト)

アート作品制作からパフォーマンス・アートまでを手掛ける世界から注目される(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属の稀代のアーティスト！



【明和電機プロフィール】
中小企業スタイルで、さまざまなナンセンスマシーンを開発し、国内・海外で展覧会やライブパフォーマンスを行うアートユニット。プロダクト開発も積極的におこなう、「オタマトーン」は国内外で12万個の大ヒット、2010年おもちゃ大賞を受賞。
また2011年6～7月、フランスで開催された「TRANSFORMER 展」において明和電機の新製品を展示。2013年7月には、文化庁文化交流使の指名を受け渡仏、スペイン人振付家ブランカ・リーによる明和電機の楽器やコスチュームを持ちいたダンスパフォーマンス「ROBOT!」に参加（現在もロングラン上演中）。2013年、赤坂ブリッツで20周年記念ライブ、2014年1月に金沢21世紀美術館にて展覧会を開催した。

■注意事項：

基本的に本ワークショップは2日間に渡るワークショップとなります。1日のみの参加はできません。また、2日目の参加者は1日目の発想ワークショップのアイデアを審査させていただきます。審査を通過した12名の方々のみが2日目の設計ワークショップに参加できる事となります。残念ながら審査を通過できなかったお子様は2日目には進めませんので、予めご了承ください。そして、本ワークショップは公開形式となっており、BS番組にてテレビ取材も入ります。事前にご了承の上、ご参加下さい。

1日目
4/23
(土)

発想ワークショップ
第1回目 14:00-15:30
第2回目 16:00-17:30
定員：各回 30名



2日目
4/24
(日)

設計ワークショップ 9:00-12:00
(休憩)
組立ワークショップ 13:00-15:00
プレゼンワークショップ 16:00-18:00
定員：12名

※2日目の参加者は1日目の発想アイデアを審査し、選抜制とさせていただきます。
※通過者は23日(土) 18:00-19:00の間に当選のご連絡をさせていただきます。

- 会場：弘前市まちなか情報センター 青森県弘前市土手町94-1
- 最優秀賞：明和電機がモックアップ化。
東京デザインウィーク（東京：10/26-11/7）にて展示プレゼンを実施。
東京デザインウィーク招待
※宿泊費・交通費（親子2名分/泊3日）を弘前デザインウィークが負担いたします。
- 優秀賞：東京デザインウィーク（東京：10/26-11/7）にて展示。
- 参加費：無料
- 持参物：筆記用具
- 対象：小学校4年生～中学校3年生

事前エントリー：下記より事前エントリーが必要となります。

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/hdw/>



HIROSAKI DESIGN WEEKとは - 弘前に新たな「はな」を創造するための市民運動 -

弘前への郷土愛を育む市民運動（ムーブメント）です。弘前独自のコンテンツを開発し弘前の魅力を全世界へ発信する活動を弘前城天守が元の位置に戻るまで継続します。さくらとりんごをモチーフに展開を図っていきます。